

Report

遊佐町地域おこし協力隊の活動報告会を、毎年3月に遊佐町役場議事所で行っています。
今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議事所での活動発表を見送り、
各隊員の活動についてこの冊子で報告をいたします。



遊佐町地域おこし協力隊 活動報告 2021



いい暮らしとは何か
—Well being

ハウスマスター(生活相談員)

生活支援業務以外に、寮生活をしている生徒たちと日々の感動を分かち合い、ともに成長する「ハウスマスター」を目指しています。今年度は体制を整える活動を行い、来年度は高校生とともにいい暮らしとは何か考えていきます。

越境する高校生

地域みらい留学

地方創生と教育改革が進む中、地域みらい留学が広がっています。高校の存在は地域の人口に影響することが分かっており、学生の社会の関心にも寄与していることが判明しています。遊佐町の生活が学生にとって豊かであることが町の関係人口の創出に繋がると思います。

今年度の活動

私の任務は高校と町が取り組む地域みらい留学で県外から来ている5人の生活相談員です。親元を離れての高校生活をサポートしてきました。生活や各イベント活動にて遊佐町の皆さんには生徒ともどもたいへんお世話になりました。



リアルを届ける
メディア

遊佐高校魅力化通信

2020年6月号から計10号作成。自分も含めて「遊佐高校を知る」ことをテーマにしています。どの高校生もキラキラ輝いて、特にインタビューでは泣きそうになったこともありました。来年度は「理想の高校生活とは何か」をテーマに1年間書かせていただこうと思います。

来年度の活動

もっと遊佐町のことを知りたいです。高校生と遊佐町での発見を楽しみたいと思っています。その先に、留学生にとって遊佐町が「いつでも帰ってきたい町」になれるよう日々の活動を行っていきます。また、遊佐の学生がキラキラ輝く瞬間をたくさん作っていききたいです。

遊佐町の学びを考える

教育コーディネーター

多様化した時代に応じて、教育改革が進んでいます。遊佐高校でも2022年度から新学習指導要領の探究学習が始まります。学習者が主役となり学生の興味関心に応じ、アクションが伴う、学校からはみ出た「心動く学び」を先生方、地域の方と対話を重ねて私なりに考えていきたいです。





地域資源のPR活動

今年度は新型コロナウイルスの影響で本来開催予定だった首都圏でのマルシェ「遊佐ノ市」が全て中止になりました。代わりに7月から2月まで毎月、遊佐町の農作物を10種類前後を発送する業務(野菜便)を行いました。限定50個で始めましたが、毎月60個を超える申し込みがあり、遊佐町の農作物が県内外の方々に喜ばれていると思うと感慨深い気持ちになりました。来年度は首都圏での「池袋ファーマーズマーケット」に参加予定ですが、今のところコロナ禍で未定となっているので、県外出店が困難な場合も踏まえて遊佐町のPR(SNS発信やブログ)をしていきます。

特産加工品の開発業務

今年度は特産加工品の焼酎「耕作くん」を使用したジェラートの商品化を進めており、原材料の選定やパッケージ作成などたくさんの方々からのご協力をいただきながら、3月6日開催の遊佐町物産展で販売できるよう調整しているところです。「耕作くん」を知らない方々にもジェラートで味わっていただくとたいへん嬉しいです。

また、5月にオープンした遊佐町地域活性化拠点施設(加工場)で農作物(孟宗竹・パプリカ・アスパラガス・大豆・庄内柿)や特産品(遊佐カレー・むきそば・耕作くん)を使い、新たな特産加工品開発のための試作を行いました。加工場にある機器(レトルト釜・食品乾燥機・真空包装機など)を使っての調理は難しく上手くできないことも多いので、食品加工の知識・技術を県内外の研修に参加し学んでいます。

現在は、JA庄内みどりと連携し、転作大豆の商品化に向けた取り組みを行っています。「代替肉の大豆ミート」や「大豆のクッキー」など試行錯誤していますが、少しずつ商品のイメージが整ってきました。

2年目の活動目標

「首都圏でのマルシェ参加」「加工場での研修会開催」「大豆を使用した特産加工品の商品化」です。加工場にある機器の使用法は1年目で学べたことも多いので、1人でも多くの方に広めて遊佐町の6次産業化に貢献できるようになりたいと思います。また大豆の特産加工品開発はすでに半年程行っているのですが、何とかして商品化したいと思います。



耕作くんジェラート



耕作くんジェラートのパッケージ



耕作くんのさつまいも苗植え



遊佐町で開催された6次産業化セミナーの様子



ジェラートのベース作り



食品乾燥機を使用した乾燥野菜の作成



大豆クッキーの生地作り



遊佐カレー作り



大豆ミート作成中



遊佐町地域活性化拠点施設(加工場)



大豆ミート唐揚げの保存確認



町外の食品加工研修(レトルト釜での殺菌)の様子



遊佐町地域おこし協力隊のホームページ「来ちゃいなよ。ゆざまち」の管理・継続 (平成29年7月より開始)



「来ちゃいなよ。ゆざまち」の記事

「日めくり! ゆざ!」ではその日の写真1枚を紹介

私は協力隊のホームページ「来ちゃいなよ。ゆざまち」に、「遊佐町を楽しんでいる様子を広く町内外に発信する」をコンセプトとして日々の生活や日常の風景、観光スポットや施設、イベントなど実際に各隊員が体験したことを記事にしています。写真をメインに読者に疑似体験、共感を得てもらえるよう工夫しました。

私としては、ただ発信するのではなく、歴史・背景等を調べ確かな情報を伝えたいと思っています。見る人に少しでも有意義になるように、遊佐でのちょっとした情報をプラスして発信するよう心掛けています。今後も遊佐にしかないもの、町民の皆さんが気付いていない良さなどを発見し、町の魅力を「よそ者視点」から幅広く発信していきたいです。

町のことをよく知るために、町の様々なスポットに足を運び、また皆さんと交流ができるように行事・イベント等に参加しています。皆さんから私の知らないことを教えていただき、今後も様々なお話を伺って、町内外にわかりやすく丁寧に紹介していきたいです。そして遊佐で暮らすワクワク感や素敵なお話をお伝えできたら何よりです。

お気軽にお声がけご連絡ください。どうぞよろしくお願いたします。

協力隊通信の発行 (令和3年1月より開始)



協力隊通信では、主に町内に向けて各隊員の活動内容等を紹介していく予定です。広報ゆざと一緒に配布をしていきます。第1号では、令和2年度に着任した各隊員の自己紹介と活動内容の紹介を掲載しました。今後も継続的に発行をしていきます。

移住セミナーのトークセッションに出演



11月29日(日)に開催された「やまがた暮らし大相談会」※のオンライン移住者トークセッションにゲストとして出演し、山形県、遊佐町への移住のきっかけ、移住までの経緯や、移住後の町での暮らしについて話しました。来場者の方に町を紹介することができましたので、今後も機会があれば移住イベント等でPRしていきたいです。

※山形県の移住に関するイベント
主催：(一社)ふるさと山形移住・定住推進センター



地域おこし協力隊として活動し始め4カ月が経ちました。自然満載の環境というだけでなく、体内からも自然の恵みの恩恵を受けられ、久しぶりに健康的な遊佐生活を堪能しております！

活動を通して「いかに自分が生まれ故郷の事を知らなかったのか」を痛感しましたが、「むしろ新鮮な気持ちだからこそ伝えられる事があるんじゃないか?」「自分と同じように故郷を離れた人々や、鳥海山は知っているけど遊佐町は知らない」なんて方々にも、「今の自分だからこそ発信できる何かがある」と信じて4カ月を過ごしました。その中で活動をご覧いただければ幸いです!!

鳥海山・飛鳥ジオパーク Touch! ～ふれる・楽しむ・好きになる～

「ジオパークって名前は知ってるけど何なの?」という方が多くいるのではないかと、というところにスポットを当て、町外に魅力を発信するだけでなく、町民の皆さんにも知ってもらえたらと、まず手始めに「鳥海温泉 遊楽里」に出来たジオパーク展示スペースへ自作の案内ポスターを設置していただきました。

ジオパークに関連した地域振興活動の一つとして、【ジオパーク認定商品】というものがあります。既存の認定商品もありますが、今回新たに登録された認定商品の撮影を私が担当させていただきました。実は、遊佐町の事業者さん考案の商品が鳥海山・飛鳥ジオパークのエリア(由利本荘市・にかほ市・酒田市・遊佐町)で一番多くの認定商品として認定されています。多くの皆さんに知ってもらうために「鳥海温泉 遊楽里」ご協力のもと、今後ジオパーク認定商品コーナーを設置していただく予定です。現在「道の駅鳥海 ふらっと」や「あぼん西浜」でも一部販売しておりますので、ぜひお立ち寄りください!!



- ① みちのく山形のどぶろく黒どぶ (酒田醸造株式会社)
- ② 鮭白子燻製(釣海丸)
- ③ ハプリンジュース (手作り加工 富ちゃん)
- ④ 鳥海山型サブレ (藤右工門すっぱんボン製菓)

観光・自然資源の魅力発信

自然や食の魅力を伝えるだけでなく、遊佐町の宝でもある「人と文化」にスポットを当てたいと思うようになりました。自然や食を前面に押し出すだけでなく遊佐の伝統芸能や伝統工芸、職人さん、農家さん、漁師さんなどなど、こういう方々がいるんだぞ!! とアピールすべく今構想を練っている最中です。まだ発信するに至っていないのですが次期活動報告にご期待いただければと思います!



遊佐町地域おこし協力隊のOB・OGは今…

先輩方の近況をご報告します。みなさん引き続き遊佐町で活躍中です!



H29.1~R2.3

和島 経輔 Wajima Keisuke

地 域おこし協力隊を卒業してはや1年。。。されど1年。。。石の上には3年。。。って関係ないかww

とりあえず、いろいろな方々に助けをいただいて、遊佐に住んでいます。今は夫婦で年間約140種ぐらいの野菜を栽培して、主に首都圏のお客さんのところに直販する仕事をしています。もちろん他にも遊佐町に移住する前に

やっていた仕事を活かして、各種販促物などのデザインの仕事もやっています。めでたいことに先日家族が増えました。人間3人と犬2頭。しっかり頑張らねば〜と思いつつも、のんびりと賑やかに楽しく暮らしています。これから仕事をご一緒させていただく方も多いかと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。



H29.5~R2.4

高橋 可奈絵 Takahashi Kanae

在 任中は空き家を地域の皆さんと再生DIYし、移住者・Uターンの方の創造拠点をつくるミッションを行っていました。地元の職人さんからご協力いただき、町内の空き家を会場にDIY初心者講座を開催。DIYメンバーと数々の物件を再生しました。現在は母と、吹浦にある空き家再生3店舗目のお店で「清水森食堂」を営んでおり、自家製野菜や地元の食材も使った料理を作っています。

イベントも開催し、繋がりを広げていくことも挑戦中。コロナ禍での開店でしたが、今までお世話になった方、ご近所さん、お客様から応援をいただきやって来られました。心から感謝しています! 予期せぬ世ですが、大切なものは変わらずあります。それを大事に地域の方も私達も楽しめるお店(居場所)に育て、遊佐ファンを増やしていきたいと思いますので今後ともよろしく願いいたします!



H29.6~R2.5

林 晶 Hayashi Akira

お 久しぶりです。協力隊を退任してもうすぐ1年。その後の僕は、観光&登山ガイドはお休み中ですが、いろんなことに挑戦中です。まずは、釣り…って遊びかい! と怒られそうですね。でも、川と海の両方をこの距離感で楽しめるのはやっぱりすごいです。海釣りは始めたばかりですが、景色を見るだけでも嬉しくなります。それから、アワビ養殖のお手伝い。初めて関わる生き物の成長を通して海や自然、天候

のことなども少しずつ学んでいます。もちろん古民家カフェわだやの方も。町内外のマルシェなどにも参加させていただきました。そして最後に、吹浦のある物件を(一部業者さんをお願いしながら)DIYで改修作業中です。どんなふうにできるか想像しながら、とても楽しいです。本をたくさん置いている場所にしたいと考えています。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

遊佐町地域おこし協力隊ホームページ

来ちゃいなよ。
ゆぞまち



遊佐町地域おこし協力隊フェイスブック

来ちゃいなよ。
ゆぞまち



制作：遊佐町地域おこし協力隊 2021年3月

☎ 遊佐町役場 企画課 定住促進係内 ☎0234-28-8257 ✉ yuzamachi.com.info@yuzamachi.com

ご意見、ご感想等ありましたら各隊員までお気軽にご連絡ください。